

筑豊小児科医会会報

Vol.198 2023.7



Contents

- ◇ 今月のトピックス（薬剤部）
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2023年4月》
- ◇ Pediatrics note（小児科 診療部長 大矢崇志）
- ◇ 外来診療担当表

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

今月のトピックス（薬剤部）

飯塚病院薬剤部は、薬剤師 75 名、薬剤助手 17 名の総勢 92 名が在籍しています（2023 年 4 月時点）。薬剤部の業務内容は、外来調剤・入院調剤・漢方調剤・注射薬調剤の調剤業務をはじめ、製剤室業務、医薬品情報室業務、薬物血中濃度モニタリング業務、病棟業務、抗がん剤調製業務などを行っています。当院は救命救急センターが開設されており、薬剤部においても調剤業務は 365 日・24 時間体制で臨んでいます。

一方、各種認定や専門を取得した薬剤師がチーム医療の一員として、抗菌薬適正使用支援チームの専従薬



飯塚病院薬剤部のみなさん

剤師、そして、がん化学療法や栄養サポートチーム、緩和ケアチームなどで専門性と薬剤師職能を活かして薬学的管理を行っています。医薬品の安全性や有効性の確保、そして、質の高いきめ細かな薬物療法適正化への参画を通じ、先生方の負担軽減や患者さんが安心して服薬継続できるよう努めております。

当院では、外来受診時や入院中の服薬指導時に「お薬手帳」シールをお渡ししており、医療機関や保険薬局との円滑な連携として活用していきたいと考えております。お薬情報が集約している「お薬手帳」は、飲み合わせや複数の病院・診療科での多剤・重複投与の有無などを確認でき、有効で安全な薬物治療に欠かせないものです。地域医療連携を支える薬の専門家として貢献できるよう努めてまいりますので、今後も変わらずご協力賜りますようお願い申し上げます。

研修医のご紹介

● 初期研修医 1年目 めのまさのり 米野正識

はじめまして。初期臨床研修医 1 年の米野正識と申します。生まれも育ちも大分です。私は幼い頃、卵・牛乳アレルギーとアトピーがありました。医師である母と父に食べ物、着るもの、石鹸の種類まで様々なことについて気を使いながら根気強く育てていただきました。おかげで今ではアトピーの面影もなくなっています。私も同じように子供一人一人としっかり向き合い続けられるよう精進してまいります。また、小児科では親御さんとのわかり方についても学ばせていただきたいと思います。

至らぬ点多いと思いますが、5 週間ご指導の程よろしく願いいたします。



● 初期研修医 1年目 にしむらえみり 西村映実里

初期研修医 1 年目の西村映実里と申します。高知大学卒です。九州に住むのは初めてなので楽しみにしてきました。小児科では、小さいお子さんの病気を診ることだけでなく、その子を取り巻く環境を考えられたり、ご家族の方をできる限り安心させられるような医師になれるよう、みなさまからたくさん学びたいと思います。医師としても社会人としてもまだまだ至らぬところばかりではありますが、精一杯努力いたしますのでご指導よろしく願いいたします。



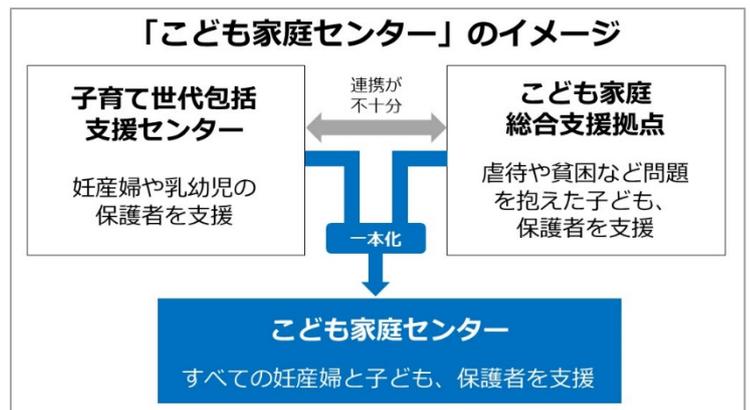
こども家庭センターとは？

令和4年に公布された「児童福祉法等の一部を改正する法律（令和6年4月施行）」において、市区町村は「こども家庭センター」の設置に努めることとされました。

多くの自治体においては、「子育て世代包括支援センター（母子保健）」と「こども家庭総合支援拠点（児童福祉）」を整備しており、母子保健と児童福祉の専門職が連携・協力しながら相談支援を実施しています。しかし、子どもとその家庭が抱える困難は多様化し、ヤングケアラーへの対応など新たな課題もあります。

2つに分かれている支援機関を一本化することで、母子保健と児童福祉の一体的な相談支援が可能となり、支援が必要な家庭の見落としを防ぐ効果もあります。

家庭訪問によるアウトリーチ型の状況把握、問題を抱える家庭に対するマネジメント（サポートプラン作成）など、支援のさらなる充実を図り、地域における子育て支援・こどもの居場所づくり支援の資源の把握・創出・連携体制の構築を担うことも期待されています。



小児虐待防止委員会 委員長 田中 祥一郎

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL : 0948-88-8220（直通） FAX : 0948-88-2806

小児科関連勉強会のご案内

■ 第 347 回 筑豊小児科医会勉強会

- 日 時：2023年7月19日（水）18：30～19：30
- 形 式：ハイブリッド開催
- 会 場：飯塚病院 教育研修棟 3階 322 中会議室

講演「医療機関における顧問弁護士の役割」

法律事務所玲 岡上 貢先生

*会場ご参加には事前の申込が必要です。詳細につきましては案内状をご確認ください。

■ 第 348 回 筑豊小児科医会勉強会

- 日 程：2023年8月10日（木）

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2023年4月》

●入院患者数 116人 ●外来患者数 1,028人 ●救命救急センター受診者数 285人

●新生児センター入院患者数 10人 ●分娩件数 17件 ●手術件数 7件

●主要疾患数（退院患者数：101人）

肺炎・気管支炎	28	痙攣及びてんかん	19	低出生体重児	8
急性上気道感染症	5	新生児呼吸障害・心血管障害	3	高ビリルビン血症及び黄疸	2
喘息	1	急性胃腸炎	1	その他	34

●4月紹介件数

小児科：139件			小児外科：16件		
①	宮嶋医院	13	①	津川診療所	3
②	こどもクリニックもりた	8		有松病院	2
③	飯塚急患センター	7	②	栗原小児科内科クリニック	
	いいづかこども診療所		吉國医院		
	ささきこどもクリニック		飯塚市役所 子育て支援課 母子保健係		
	雪竹医院			穎田病院	
⑦	松尾ファミリークリニック	5		嘉麻赤十字病院	1
⑧	栗原小児科内科クリニック	4	⑤	総合せき損センター	
	千手医院		たかた皮ふ科		
	津川診療所		ひじい小児科クリニック		
	平野医院		松尾ファミリークリニック		

<お詫び> 郵送で関係機関へお送りした誌面につきまして、4月紹介件数に誤りがございました。

上記の表が正しい数値となります。訂正してお詫び申し上げます。

Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

久しぶりに映画の話をして。是枝裕和監督の「怪物」を観ました。

【あらすじ】「大きな湖のある郊外の町。息子愛するシングルマザー、生徒思いの学校教師、そして無邪気な子どもたち。それは、よくある子ども同士のケンカに見えた。しかし、彼らの食い違う主張は次第に社会やメディアを巻き込み、大事になっていく。そしてある嵐の朝、子どもたちは忽然と姿を消した」。

物語は母親、担任、校長、子どもたちの視点から描かれ、話の進行と共にそれぞれの立場における背景が明らかになっていきます。

ある日突然、大切な人が自分には理解しづらい行動を始め、それを続けたら、私たちはどう振る舞うでしょう。訳もわからず不安になり、どうして良いかパニックになり、眠れなかったり、食事も喉を通らなくなったりするかもしれません。理由を知ろうと関わりのある人に話を聞いても、話を聞いてくれずに返答も曖昧、本人に問い詰めても頑なになる一方だとしたら、一人で抱え、悩み、苦しみ、衰弱していくでしょう。映画前半の母親視点のパートはこんな風に重苦しく話は進みます。その後、視点が変わった時に何が明らかになるのか。怪物ってなに？ それは誰？

最近の私は子どもたちの問題行動への関わりを通して、その親御さんが抱える課題にも向き合う日々を過ごしています。5月号で紹介したトラウマインフォームドケア（TIC）もその一環で始めましたし、なるべく相手や出来事背景に思いを馳せるようにしてきたつもりでした。しかし、今回自分にはまだ全然そのスキルが身に付いていないことを実感しました。登場人物が抱える事情が明らかになった時、なぜか目の前に私に関わる子どもたちや家族の顔が浮かんで来て、涙が止まらなくなりました。感情の整理がまだついていませんが、観ることができて本当に良かったです。

いつかこの物語にしれっと出演して、子どもたちの悩みや学校と家庭のいざこざを上手に解決できる小児科医になりたいなあ・・・。

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介



外来診療担当表（○初診、●再診）2023年6月1日現在

一般外来：予約・紹介状必要		月	火	水	木	金
小児科	岡松由記(小児科部長)	AM●		AM●		AM●
	神田 洋	AM○/●				
	大矢崇志		AM○/●			
	坂口万里江			PM○/●	AM● PM○/●	AM○/●
	廣瀬 彰子			○/●		
	田中祥一郎		○/●		AM○/●	
	田中ゆかり			AM○/●		AM○/●
	荒木潤一郎	AM○/●				
	吉田愛梨	PM○/●				
	田中友規					PM○/●
	山下哲夫		AM○/● または山木			
	山木勇人		AM○/● または山下			
小児外科	竜田恭介(小児外科部長)	○/●	手術	○/●	手術	○/●
専門外来：予約・紹介状必要						
新生児	神田 洋		PM○/●			
神経発達	近藤里香子	○/●			○/●	
	大矢崇志	○/●			○/●	
循環器	寺町陽三		PM○/●			
	平田悠一郎			PM○/● (第2,4)		
内分泌	八ツ賀秀一					○/● (不定期：月1回)
	古賀木綿子			○/● (不定期：月1回)		
	西岡淳子					○/● (不定期：月1回)
腎臓	荒木潤一郎					○/● (不定期：月1回)
血液内科	安藤昭和					○/● (不定期：第4)
アレルギー	田中祥一郎			○/●		
1ヶ月健診（金曜午後）						PM